

2019.3.6

## 学校関係者評価委員会報告書

少友幼稚園ダンス講師 平松み紀

平成 31 年 2 月 20 日（水）に吉野悦子園長と梶山正美先生、平松み紀の 3 名で学校関係者評価委員会を開催しました。以下、項目に沿ってご報告いたします。

### ①自己評価の内容が適切であったか。

先生方の自己評価表はⅠ「保育の計画性」Ⅱ「保育の在り方、幼児への対応」Ⅲ「教師としての資質や能力」Ⅳ「保護者への対応」Ⅴ「地域とのかかわり」Ⅵ「研修と研究」の 6 項目から今年度を振り返っていました。Ⅰ「保育の計画性」ではキリスト教フレンド派の建学精神や園の教育目標をそれぞれが確認し、Ⅱ「保育の在り方、幼児への対応」では日々の園児への寄り添い方を顧みることができていました。Ⅲ「教師としての資質や能力」とⅥ「研修と研究」では現在の自分のスキルを確認し、研修などで補う意欲がみられました。Ⅴ「地域とのかかわり」は小学校との連携を考える項目となっており、自己評価表の項目と内容が適切であると評価いたしました。

### ②今後の改善方策が適切かどうか。

自己評価表に来年度の目標と来年度是非やってみたいことの項目があります。主任・副主任は自覚を持って幼稚園全体を考えていく、年長組担任は小学校生活を見据えた活動、年中・年少組はマンネリ化しない遊びの工夫と積極的にお散歩に行くことが書かれていました。今の少友幼稚園は様々な世代の先生方が勤務していることで非常にバランスが取れていると思います。お互いに助け合いながら現場で学んでいることが読み取れます。

また、よりよい預かり保育ができる環境構成をしていきたいとのコメントがあり、預かり保育の時間の充実が課題となっています。最近では演劇グループやパネルシアターの学生ボランティアを招いて新しい交流を始めているので、今後の努力に期待を寄せています。